

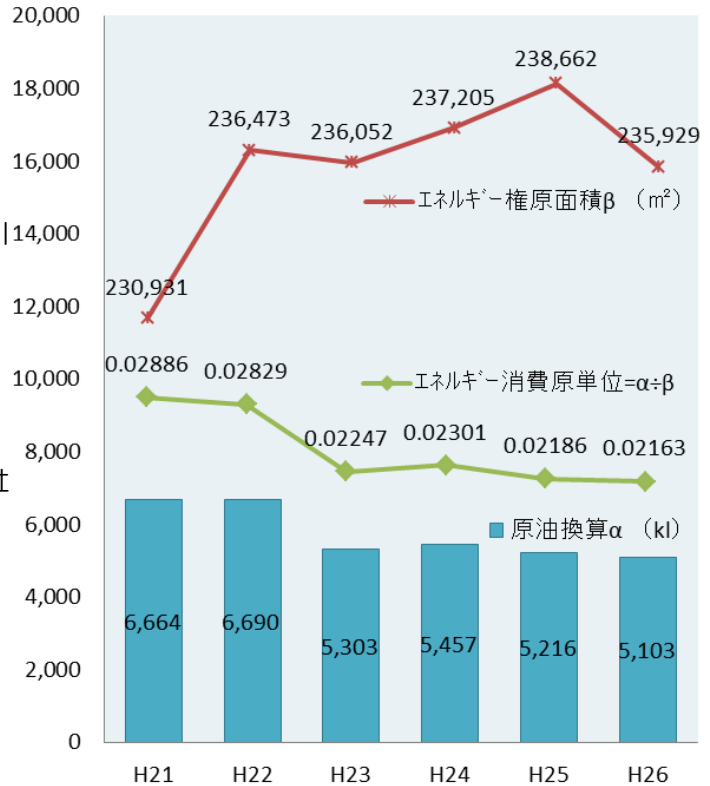
■ 環境パフォーマンスデータ

株式会社新都市ライフ全体の消費エネルギー

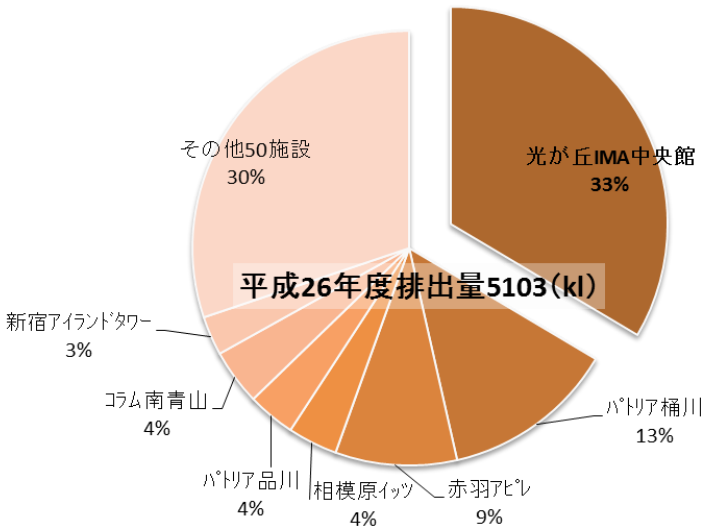
当社では、「施設のエネルギー消費を原単位で毎年前年比▲1%以上削減する」という、省エネルギー法に基づいた目標を設定しています。

平成26年度は、商業施設として無理のない照明の間引きや空調温度設定等の運用上での省エネをお客様のご理解をいただきながら実行する中、照明設備のLED化や空調設備の更新等を積極的に行い、総合的な省エネルギー化に努めて参りました。

これらの結果、右表のとおり平成26年度における当社全体（※）でのエネルギー使用量の合計は、原油換算で5,103kl、前年と比較して▲2.2% 113klの削減を達成することができ、エネルギー消費原単位（緑の折れ線グラフ）では、▲1.1%の削減となりました。



改正省エネルギー法施工後における6年間の当社エネルギー使用量(kl)及び単位面積当たりのエネルギー使用量割合



省エネルギー法によるエネルギー権原を有する57施設のエネルギー消費割合

当社施設で最もエネルギー消費量（原油換算）の多い施設は「光が丘IMA中央館」（東京都練馬区）であり、当社全体（※）の33%を占めています。

「光が丘IMA中央館」は、省エネルギー法上の「エネルギー管理指定工場」、東京都環境確保条例上の「大規模事業所」に指定されており、当社の目標達成において、最も重要な事業所として位置付けています。

次いで「パトリア桶川」（埼玉県桶川市）は、埼玉県地球温暖化対策推進条例上の「大規模事業所（C）」の取扱いとなっており、2番目にエネルギー消費量が多い施設です。

（※）省エネルギー法によるエネルギー権原を有する範囲。

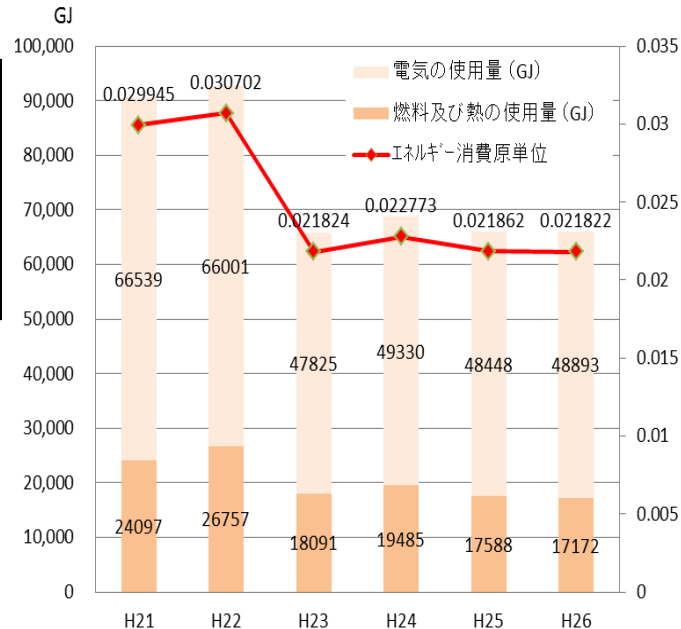
「光が丘 I MA中央館」の消費エネルギー

当社全体のエネルギー消費の33%を占める「光が丘 I MA中央館」の平成26年度のエネルギー消費量は、原油換算1,704klで、前年と同じでした。

エネルギーの使用傾向は、照度や空調温度設定を震災前の環境に戻しつつも、設備更新等により省エネ型を導入する事で、前年度と同水準となった。

◆エネルギー使用量及びエネルギー消費原単位の変化状況

項目		H21	H22	H23	H24	H25	H26
①	燃料及び熱の使用量 (GJ)	24,097	26,757	18,091	19,485	17,588	17,172
②	電気の使用量 (GJ)	66,539	66,001	47,825	49,330	48,448	48,893
③	合計 ③=①+② (GJ)	90,636	92,758	65,916	68,815	66,036	66,065
④	合計③を原油換算 (kl)	2,334	2,393	1,701	1,775	1,704	1,704
⑤	エネルギー権原対象面積 (㎡)	77,943	77,943	77,943	77,943	77,943	78,088
⑥	エネルギー消費原単位=④÷⑤	0.02995	0.03070	0.02182	0.02277	0.02186	0.02182
	前年度比 (%)		102.5%	71.1%	104.3%	96.0%	99.8%



◆H26のエネルギー使用量(GJ換算)

・使用量(GJ)内訳

項目	H25	H26	傾向	
A重油(GJ)	0	0	→	-
温水(GJ)	3,449	3,218	↘	93%
冷水(GJ)	14,139	13,954	↘	99%
熱合計(GJ)	17,588	17,172	↘	98%
電気(GJ)	48,448	48,893	↗	101%

・熱の使用量は冷温水共に減、冷水については前年比99%。

・電気の使用量は増。前年比101%の推移。

⇒設備更新等により減少したものの震災以前の運用に戻したため全体的に使用エネルギーは増えた。

